

はしがき

神奈川県図書館協会会則の第2条「目的」によりますと、「協会は、県内図書館活動の振興を図り、文化の進展に寄与することを目的とする」とあります。

昭和3年に協会が設立された時、当時の会則第1条には「県内に於ける図書館の連絡提携を図り図書館事業の発達改善を促進するを以って目的とす」とありました。以後、86年の年月を積み重ねる中で、協会はその目的の実現に向けて、県内の公共図書館、大学図書館、そして専門図書館が館種を超え、惜しみない連携と協力をしながら努力をしてきたところです。

協会には、現在、公共図書館75館、大学図書館36館、専門図書館14館の合計125の施設が加盟し、さらに個人会員を含めて「よりよい図書館のあり方」をともに追求しています。

今、改めて昭和8年に発行された「神奈川県図書館協会報」の第一号をひもといてみますと、大久保住吉会長による「会報発刊に当りて」と題する文章が載せられており、「図書館の事業は、地味ではありますが悠久なる文化の事業であります。不断にその活動の範囲を拡大し、一般人の生活の内面にまで深く根を下ろすことによって初めてその機能を十分に発揮することを得ると共に、そうした基礎の上のみ人材の出づることも予想出来るものだと思います」とあります。また、「図書館は向上心に燃ゆる人々にとって生命の泉であると信ずるのであります」とあり、会員図書館に対して、相互研究の機関であり、県下図書館の連絡提携の機関である神奈川県図書館協会のために協力いただきたい、と結んでいます。現在の会則が目的とする、図書館の振興と文化の発展に寄与しようとする思いまで、時を超えて伝わってまいります。

その時々におきまして、図書館をめぐる課題は様々です。そしてまた、館種によっても直面する課題はいろいろであると思いますが、協会設立の歴史に思いを馳せ、企画委員会、広報委員会、郷土・出版委員会、研修委員会、そして大学図書館委員会の各委員会が、知恵を出し合いながら時代の要請に応える活動を行い、本県の図書館を取り巻く諸情勢に対処していくことが期待されています。

こうした活動を活発に行っていくうえでも、ここに発行しました『神奈川の図書館2014』を有効にご活用いただくとともに、図書館関係者をはじめ神奈川の図書館を支援していただける諸機関や多くの方々にとりまして、ご参考になることを心から願っております。

2014年9月

神奈川県図書館協会
会長 高嶋 薫

神奈川県内図書館等の動き

(2013年4月～2014年3月)

1 はじめに

(1) 加盟館数 (2014年4月現在)

公共図書館 75 館、大学図書館 36 館、専門図書館 14 館、合計 125 館、個人会員の加入数は 15 名

(2) 公立図書館等の設置状況

県立は 2 館設置

市については 19 市の全市が設置

町村については、図書館(室)条例制定は 14 町村のうち 7 町村(葉山町・寒川町・大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町・清川村)となり、町村の設置率は 50%

その他公民館条例等により図書館活動を行っている町は 7 町

(3) 本協会の動き

第 15 回図書館総合展(パンフィコ横浜 開催)に参加、協会の諸活動をパネル等で PR したブース展示(広報委員会が担当)及び、フォーラム「学校図書館は学校教育のインフラー公共図書館はどのように支援できるか」(研修委員会が担当)を実施(2013年10月)

『神奈川の図書館』の協会ホームページへの掲載開始(2010年版以降分)

2 公共図書館

月	図書館名	事項
4月～ 3月	伊勢原市立図書館	図書館開館 25 周年記念事業の実施
		「どれだけよんだか手帖」の配布
		「25 日は貸出冊(点)数 2 倍デー」の実施
4月	川崎市立図書館	新中原図書館一般供用開始 図書運搬巡回車を 1 台から 2 台体制へ増車
	相模原市立図書館	雑誌スポンサー制度を導入
	伊勢原市立図書館	「伊勢原市子ども読書活動推進指針」の策定
	綾瀬市立図書館	(株)有隣堂を指定管理者として、指定管理者制度による運営第 2 期を開始 子ども読書活動推進担当を設置
5月	相模原市立図書館	図書資料の貸出点数・貸出期間を変更 〔図書資料の貸出点数:6 点以内から 10 点以内に 視聴覚資料の貸出点数:2 点以内から 3 点以内に 貸出期間:7 日以内から 14 日以内に〕
	綾瀬市立図書館	市内幼稚園への配本事業を開始
6月	横浜市図書館	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」公布 (2014年4月施行)
	川崎市立図書館	日本女子大学西生田図書館と多摩区民の利用に関する覚書を締結 新中原図書館開館記念講演会の開催

6月	座間市立図書館	図書館システム更新
7月	大和市立図書館	図書館3階に「子ども読書室」(30席)を設置 子ども向け館報を発行
9月	川崎市立図書館	市立図書館全館のコンピュータ機器の更新 市立図書館地区館への自動貸出機・BDSの導入完了 麻生図書館電動書庫リニューアル工事の実施
	南足柄市立図書館	小学校2校への配本サービスを月1回ずつ試行で開始
10月	大和市立図書館	毎月23日を「やまと家読の日」として制定 相鉄相模大塚駅と大和市役所に図書返却ポストを設置 利用者アンケート開始
	綾瀬市立図書館	図書館システム更新
	愛川町図書館	図書館システム更新
11月	川崎市立図書館	授業支援図書セットの貸出開始
	大和市立図書館	子ども向けホームページを開設
12月	秦野市立図書館	図書館システム更新
	葉山町立図書館	図書館システム更新
	大磯町立図書館	図書館空調改修工事(I期)実施
1月	大和市立図書館	利用者カードをハーファミネート加工に仕様変更
3月	横浜市図書館	「横浜市民読書活動推進計画」策定
	海老名市立図書館	2014年4月1日より海老名市立中央図書館・有馬図書館ではカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)と(株)図書館流通センターが共同事業体で指定管理者に
	綾瀬市立図書館	パスファインダー「ピッキーのあしあと」を発行(不定期)

3 大学図書館

月	学校名	事項
4月～ 3月	フェリス女学院大学	読書運動プロジェクト「フェリスの一冊の本」2013年度テーマ:星の王子さま ～フランス文学への誘い～
4月	専修大学	春の企画展「人物でめぐる図書館 ―書棚の住人からあなたへ―」(～6月)
	東洋英和女学院大学	授業期間中の開館時間変更(月～金) 9:00 → 8:50
	フェリス女学院大学	機関リポジトリ「FAIR」公開
6月	日本大学	茅ヶ崎市立図書館との図書館相互協力協定締結
8月	小田原女子短期大学	インターネット蔵書検索システム(OPAC)リニューアル
10月	横浜市立大学	学術情報センター(八景キャンパス)に会社史・団体史コーナーを開設
11月	専修大学	専修大学図書館「特別展 フランス革命と自由民権」
	小田原女子短期大学	秋季図書館所蔵資料展 一般公開 テーマ:「魅惑のアンティーク・ポップアップ絵本の世界」

月	学校名	事 項
12月	神奈川大学	平成 25 年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業(文科省)により、イングリッシュ라운ジの整備のための電子書籍等の整備として英語多読本の電子書籍を導入
	湘南工科大学	図書館システム更新
	桐蔭横浜大学	業務システム更新(富士通(株) iLiswave-J V3を導入)
2月	神奈川大学	平成 25 年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業(文科省)により、横浜図書館では、ラーニングcommons及びアクティブラーニングのための什器等の整備を実施
	日本大学	館内防犯カメラ新設、退館ゲート更新
	フェリス学院大学	神奈川近代文学館との共催で朗読会「雪・月・花 ～ひとすじのあかり～」開催
3月	小田原女子短期大学	2014 年 4 月より学校名変更に伴い「小田原短期大学図書館」に館名変更

4 専門図書館

月	図書館名	事 項
4月	県立保健福祉大学 実践教育センター	図書特集展示「多職種連携ってなんですか？ 保健福祉専門職連携に関する本」(～8月)
9月	〃	図書特集展示「学生図書委員と司書が看護学生におススメする本」(～10月)
11月	〃	図書特集展示「よりよい研究のために 検索・研究・論文作成に役立つ本」(～12月)
	大倉精神文化研究所 附属図書館	図書館情報管理システムの導入
12月	神奈川県立公文書館	開館 20 周年記念事業 特別展示「記録遺産は時を超えて ～かながわのアーカイブス～」実施(14日～3月30日)
1月	県立保健福祉大学 実践教育センター	図書特集展示「20年目の《1・17》、4年目の《3・11》二つの大震災から学ぶ」(～3月)
2月	神奈川県立公文書館	開館 20 周年記念事業 特別講演会「近現代史の面白さ –アーカイブスの視点から–」実施(22日)

5 刊行物 〈神奈川県図書館協会 編集・刊行〉

●神奈川県郷土資料集成 第13集 神社明細帳(三浦郡)	2,500円
●神奈川県郷土資料集成 第12集 相模国鎌倉郡村誌	5,000円
●神奈川県郷土資料集成 第11集 神奈川地誌	1,800円
●神奈川県郷土資料集成 第8集 和歌篇	1,400円